



「セキュリティ対策の強化のお知らせ」

2017年3月8日

NTTアイティ株式会社

セキュリティ対策の強化について

ひかりワンチームSPでは一層のセキュリティ強化を目的にインターネット通信で使用する暗号化方式の変更を行います。

以下の通り、よりセキュリティ強度の高い「TLS1.2」のみを対応とするような変更を実施致します。

	現在	3月21日以降
暗号化方式	「TLS1.0」「TLS1.1」「TLS1.2」	「TLS1.2」のみ

変更実施日時

2017年3月21日 20:00~24:00

上記の時間帯では、一時的にサービスがご利用いただけなくなる場合があります。

お客様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解を頂きますようお願い申し上げます。

ご利用環境ごとの影響について

環境 (OS)	ブラウザ	影響
iPad	Safari	影響なし (iOS8.1以降であれば)
Android	Chrome	影響なし (Android4.1以降であれば)
Windows	IE 11, Chrome	TLS1.2が無効になっている場合は有効化が必要
Mac (＊)	Safari	影響なし (Safari7以降であれば)

(＊) Mac Safari は推奨動作端末に含まれておりませんが、参考情報として記載しております。

「影響なし」と明記されている環境では何もする必要はありません。ただし、バージョンの低い端末やブラウザを使用している場合はOSやブラウザのアップデートをお願いします。

Window環境をご利用の場合、デフォルト設定で「TLS1.2」が有効になっておりますが、環境によっては「TLS1.2」が無効になっている場合もありますので、その場合は「TLS1.2」の有効化をお願い致します。

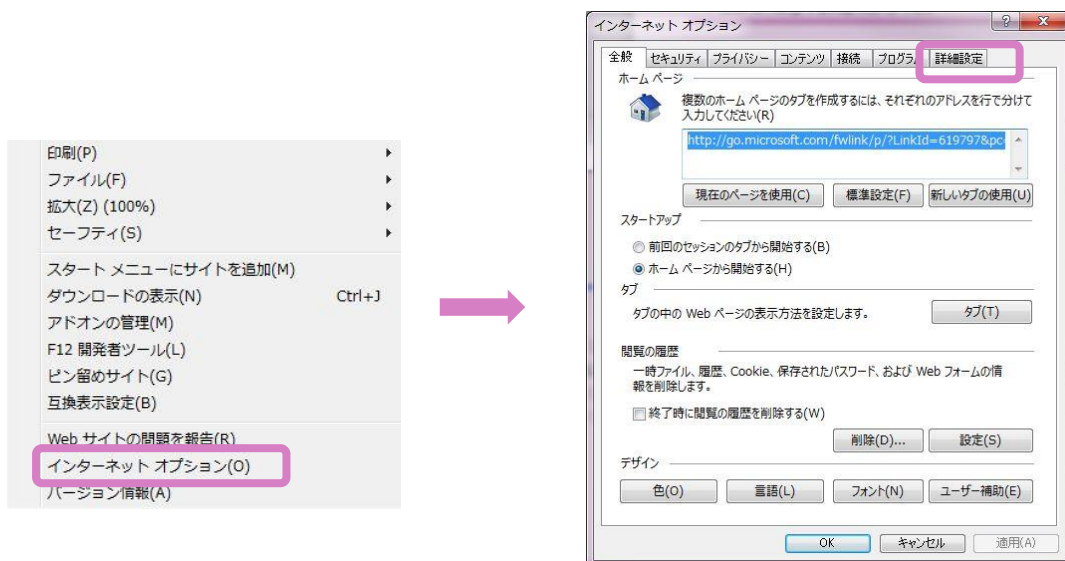
次のページにて「TLS1.2」の確認方法と有効化の手順を掲載しておりますので、事前の確認をお願い致します。

また、Windows環境の場合、「TLS1.2」の設定はどのブラウザでも共通になりますので、Chromeをお使いの方も、次のページに示すようなInternet Explorerを使用する手順で確認と有効化を行ってください。

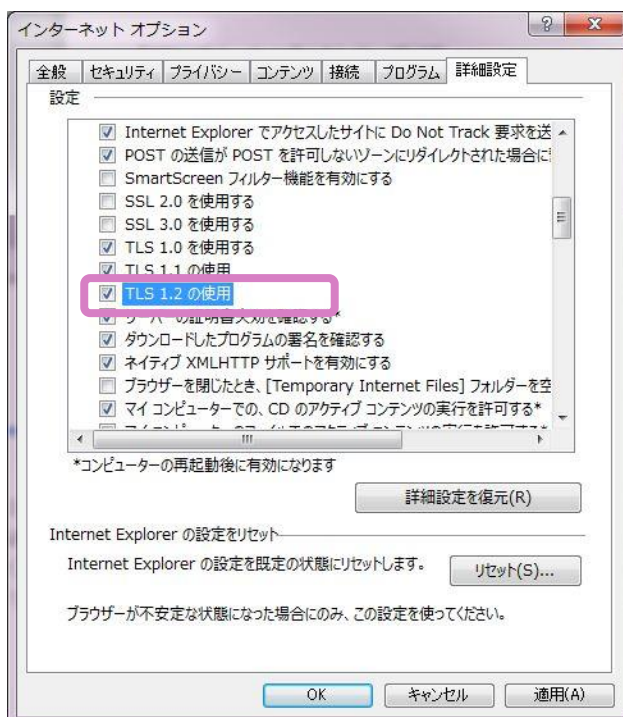
Windows環境(IE11) 「TLS1.2」の確認と有効化

IE11で「TLS1.2」が有効になっているか確認する

手順1：Internet Explorerを開き、「ツール」のアイコンをクリック後「インターネットオプション」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックする。

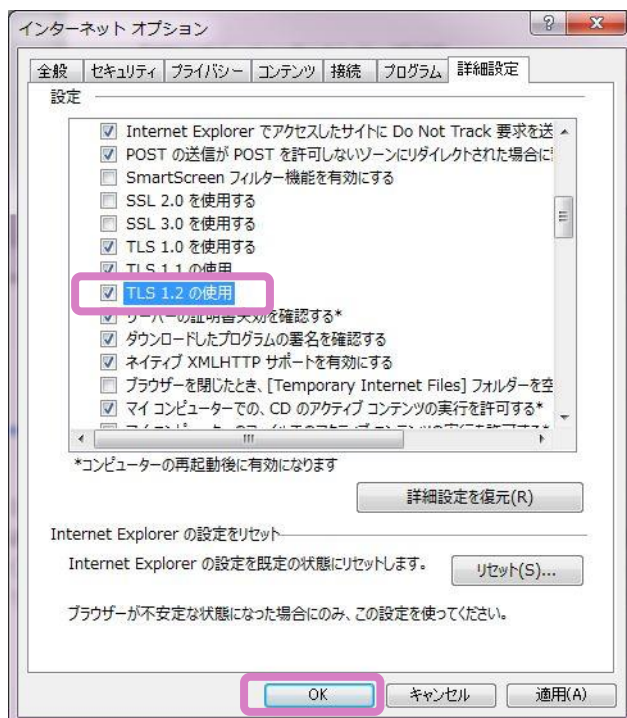


手順2：「インターネットオプション」ウィンドウの「詳細設定」タブを開き「セキュリティ」の項目まで画面をスクロールし『TLS 1.2の使用』にチェックがついていれば有効になっています。



「TLS1.2」を有効にする

手順 1 : 『TLS 1.2の使用』にチェックがついていなかった場合は、チェックを入れて「OK」を押下します。



注意：この時、『TLS 1.2の使用』以外の項目は変更しないようお願い致します。（ブラウザの動作に影響が出る場合があります。）

手順 2 : ブラウザを一旦閉じ、立ち上げ直したらTLS 1.2の有効化の設定は完了となります。

「TLS1.2」を有効にしなかった場合

セキュリティ対策の実施後、「TLS1.2」が有効になっていない状態でひかりワンチームSPにアクセスすると以下のような画面が表示され、サービスが利用できなくなります。



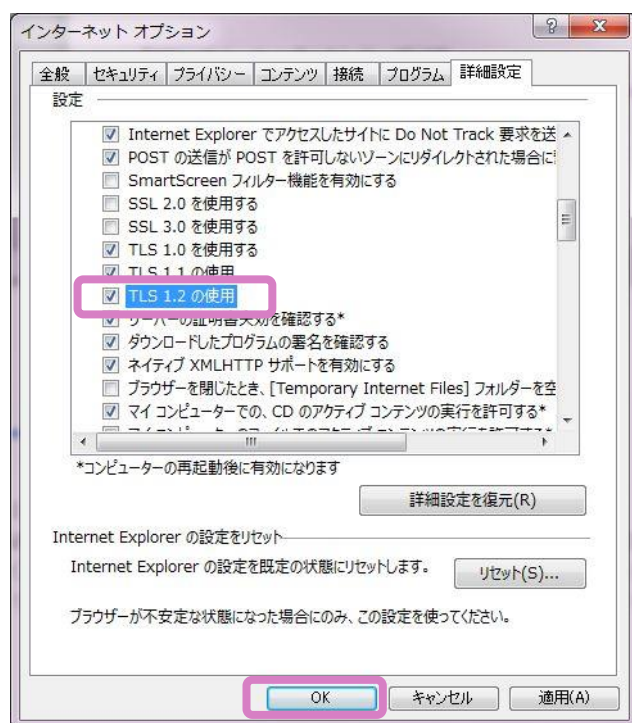
Windows環境(Chrome) 「TLS1.2」の確認と有効化

Chromeで「TLS1.2」が有効になっているか確認する

手順1 : Chromeを開き、ツールバーの「メニュー」ボタンをクリックします。

さらに、「設定」→「詳細設定を表示」→「プロキシ設定の変更」をクリックして、「インターネットオプション」を開きます。

詳細設定のタブを開いて『TLS 1.2の使用』にチェックがついているか確認してください。



※ インターネットオプションはWindowsのコントロールパネルから開くことも可能です。

「TLS1.2」を有効にする

「TLS1.2」を有効にする方法はInternet Explorerの場合と同様になります。